



本財団は、休眠預金を活用した民間公益活動として、助成金を活用し以下の事業を実施します。  
実行団体名：公益財団法人こうち男女共同参画社会づくり財団  
実施事業名：女性防災プロジェクト  
指定活用団体：一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）  
資金分配団体：公益財団法人 地域創造基金さなぶり

参加費  
無料

（公財）こうち男女共同参画社会づくり財団主催事業

令和6年度

# 女性防災プロジェクト

県東部  
会場

近年の自然災害の激化。  
そして近い将来、必ず起きると  
されている南海トラフ地震。  
これからの防災・減災の取り組み  
に女性の視点は不可欠です。  
プロジェクトでは、防災の知識や  
課題、地域活動を実践するために  
役立つ内容を学びます。

わたしたちで守る！ 高知の未来

①多彩な講義とフィールドワーク！

②被災地の視察(2泊3日:東北) 

全日程託児あり！

旅費の負担なし！

内容は裏面に掲載

期間

2024年4月～8月

全5回（2泊3日の視察を含む）

募集人員

15人

会場

安芸市防災センターほか  
（安芸市西浜190-1）

対象

全ての回に参加可能であり、以下の要件を満たしていること

- ①主に県東部在住・在勤・在学の女性で防災活動への意欲がある方
- ②電子メール等オンラインでの連絡または受講が可能な方
- ③防災士または自主防災組織に所属あるいは講座終了時までには所属予定であり、講座で学んだことを地域活動で実践可能な方

※定員に達した日をもって受付を終了します。

なお、地域性を考慮し、受講される方を決定させていただくこと及び  
初めて受講される方を優先させていただきますことをご了承下さい。

お申込みは  
ソーレHPより

3月16日<sup>土</sup>  
9:00から

詳細・お申込みはホームページをご覧ください。

🔍 高知 ソーレ

お問い合わせ

TEL 088-873-9100 時間 9:00~17:00  
休館日：第2水曜日・祝日、年末年始(12/29~1/3)  
こうち男女共同参画センター「ソーレ」  
<https://www.sole-kochi.or.jp>



URL



# 2024 4月~8月 女性防災プロジェクト プログラム

会場：安芸市防災センターほか

※第1回講座のみ、こうち男女共同参画センター「ソーレ」にて開催  
(安芸駅発着の無料送迎バスあり)



第1回

4/14 日

第2回

5/19 日

第3回

6/16 日

第4回

第5回

8/25 日

時間：(第1回) 10:00-15:00 (第2・3・5回) 9:30-16:30

## 第1回 災害とジェンダー

- ・オープン講座(午前)
- ・受講生のための講座(午後)

オープン講座では高知県の危機管理及び防災行政のあり方や、防災におけるジェンダー平等の視点の重要性を理解。午後からは地域防災活動の実際を学び、アクションプラン作成のイメージを得る。

## 第2回 防災課題を理解する

- ・タイムライン作成、HUG体験

災害時の行動、地域の状況をイメージし、避難所で発生する困難を理解する。講義とグループワーク。

## 第3回 地域の防災を視る

- ・フィールドワーク
- ・地域防災の可視化・地図化
- ・グループワーク

避難経路や避難場所を専門家等とともに探索し、地域の避難リスクのほか、防災の男女共同参画や多様な人々への対応などを考える。

## 第4回 被災地で交流する

東日本大震災の被災地を訪問し、資料館等の関連施設の視察や現地の活動団体の方たちとの交流や意見交換を行う。

## 第5回 アクションプランを作る

- ・他団体・修了生との意見交換・情報共有
- ・アクションプラン仕上げ・発表
- ・防災座談会

現在活動中の女性防災リーダーからお話を伺う。

講座の内容は変更になることがあります。

講座サポーター：  
安芸市自主防災組織連絡協議会女性部をはじめ  
地域防災活動を行っているメンバーの皆さん

## 被災地視察

7/19 金 ~ 21 日

2泊3日(東北地方)

高知龍馬空港発着  
お子様連れの参加可

## 講師紹介

第1回・第2回・第5回

斉藤 容子 さん

関西国際大学 客員教授

大学卒業後、(特活)CODE海外災害援助市民センターにて海外の被災地での復興支援(アフガニスタン、イラン、スリランカ等)にあたる。2005年イギリス・ノーザンブリア大学災害と持続可能な開発コース理学修士課程を修了後、国際連合地域開発センター(UNCRD)防災計画兵庫事務所で研究員。2013年、関西学院大学総合政策学部博士課程修了。2012年より、ひょうご震災記念21世紀研究機構・人と防災未来センター主任研究員を経て2020年から2022年10月まで関西学院大学災害復興制度研究所主任研究員・准教授。現在は人と防災未来センターリサーチフェロー、関西国際大学客員教授、兵庫県立大学客員研究員として研究活動に従事している。



第1回

山中 千枝子 さん

千斗校グローバル教育研究所代表/こうちねっと見守り会議会長

公立中学校勤務から(財)高知県人権啓発センター次長として勤務。2002年より越知町立野老山小学校に校長として赴任し、おとなと子どもが同居する「野老山おとなの学校」設立。越知小学校長と越知幼稚園長を務め、2009年退職を機に、研修・講演・啓発活動等、生涯学習全般を含めた「千斗校(せんとし)グローバル教育研究所」を設立。人権バンド「風の民」にてコンサート活動も。



第3回

山崎 水紀夫 さん

さんすい防災研究所代表 / 高知防災プロジェクト代表

元高知県庁職員。1998年高知豪雨のボランティアセンター代表。東日本大震災時には震災1週間後から岩手県大槌町での支援活動など25災害での被災地支援を行う。顧問を務める防災サークルが、ほうさい甲子園、防災まちづくり大賞など3年連続全国表彰。



大槻 知史 さん

高知大学地域協働学部教授

防災推進センター危機管理分野教授/立命館大学歴史都市防災研究センター客員研究員/福島大学地域未来支援センター客員研究員。地域の方と一緒に、「いつも」の暮らしに無理なく防災を組み込む活動を進めている。



この他、防災行政ご担当の方をはじめとする  
多彩なゲストをお招きする予定です。